

第 102 回理事会議事録

1. 日 時：2025 年 4 月 25 日（金）18 時 30 分～20 時 10 分
2. 議決方法：四谷 BC2 階にて対面式で開催した
3. 議事参加者：【理事 11 名】 鳩山勝郎、浅越琴美、荒川聡一、緒方敏広、垣内寅彦（ロバート・ゲラー）、齋藤陽子、山後秀幸、橋本公二、波多江隆児、山田和彦、吉田正
【監事 2 名】 関口修、正村祐一
【事務局 2 名】 高野英樹事務局長、仲村篤志競技会事業部長
(理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 13 名)
4. 議事の経過及び結果
鳩山会長を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 101 回議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案 2024 年度事業報告および決算報告の件
鳩山会長代行より 2024 年度事業報告および決算報告について以下の説明があった。
事業報告書については 4 月に最終調整を行った。
決算報告書については 4 月 24 日に会計監査人である齋藤健氏および監事 2 名から監査報告書が提出されている。監事より決算報告書について問題がない旨説明があった。
検討の結果 2024 年度事業報告書および決算報告書の内容を承認し、第 14 回会員総会に付議することを決議した。

第 3 号議案 第 14 回会員総会の招集について
下記の要領で第 14 回公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟会員総会の招集を決議した。
2025 年 4 月 1 日に改正された公益法人法に対応するための定款第 30 条の変更を第 3 号議案として、2025 年度より行っている会友の年会費の見直しに合わせて会員の年会費の見直しを検討する会員規則の変更を第 4 号議案としてそれぞれ第 14 回会員総会に諮ることとした。
日時：2025 年 5 月 24 日（土）午前 10 時より
場所：東京都新宿区四谷一丁目 13 番地 虎ノ門実業会館四谷ビル 2 階
四谷ブリッジセンター
議案：1. 2024 年度事業報告および決算報告の承認について

2. 2025 年度事業計画および収支予算の報告について
3. 定款変更の件
4. 会員規則変更の件

第 4 号議案 理事による利益相反取引の承認について
理事による利益相反取引一覧が提出された。

2025 年度予定

理事名	現職	取引の相手方	取引額 (千円)	取引内容	取引形態
齋藤陽子	大船ブリッジセンター 理事長	大船ブリッジセンター	14,000	会費、公認料、商品販売	受取
			300	助成	支払
柳澤彰子	株式会社バリューHR 社外取締役	柳澤彰子	600	広報作業謝金	支払
			200	助成	支払
山田和彦	四谷ブリッジセンター 理事長	四谷ブリッジセンター	16,000	会費、公認料、商品販売	受取
			24,000	事務所賃料、助成	支払

2024 年度実績

理事名	現職	取引の相手方	取引額 (千円)	取引内容	取引形態
齋藤陽子	大船ブリッジセンター 理事長	大船ブリッジセンター	13,349	会費、公認料、商品販売	受取
			183	助成	支払
柳澤彰子	株式会社バリューHR 社外取締役	柳澤彰子	600	広報作業謝金	支払
			185	助成	支払
山田和彦	四谷ブリッジセンター 理事長	四谷ブリッジセンター	15,187	会費、公認料、商品販売	受取
			23,523	事務所賃料、助成	支払

検討の結果、これを承認した。

第 5 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より 4 月 9 日に行われた企画委員会について以下の報告があ

った。

JCBLの事務所の移転先について、いくつかの候補地の比較が行われた。移転を行う場合のスケジュール案、諸費用について検討した。各物件の下見を行った評価が報告された。

コスト面による経費削減の効果、下見によるビルの建物、共有部分の評価などを総合的に判断した結果、神奈川県川崎市の武蔵小杉駅周辺にある武蔵小杉フコク生命ビルが第1候補として挙げられた。

検討の結果、武蔵小杉フコク生命ビルを事務所の移転先として準備を進めることとした。それに伴い、会員総会に諮る定款の変更については、第30条に加え第2条の事務所の住所の記載についても行うこととした。

2. 普及事業部

齋藤普及事業担当理事より4月14日に開催された普及委員会について以下の報告があった。

各ブリッジセンターの普及活動への取り組みに、非常に熱心なセンターとそこまでではないセンターとの差がみられるとして、ブリッジセンターの普及活動をどのように活性化させるかについて検討を行った。10数年前の公認料率の変更とセンターの普及の義務化を定めた経緯、および明確な基準を設けることが難しい現状を確認した。

3. 競技会事業部

山田競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格取得者の報告があった。

4. 法人・管理部

荒川法人・管理担当理事より3月末時点の比較財務諸表、月次収支実績、クラブ勘定残高について以下の報告があった。

2025年度決算は約百万円の黒字となった。クラブ勘定の残高については問題がない。

第6号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は2025年6月27日（金）18時30分よりオンラインにより開催する。

2025年4月25日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第102回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

吉田 正

監 事 関口 修

正村 祐一

議事録作成者 荒川聡一